

【血管炎関連3班合同班会議】

厚生労働省：難治性血管炎に関する調査研究班

AMED：難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究班

AMED：ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的シーズ探索と
臨床的エビデンス構築研究班

平成29年度 第2回 血管炎関連3班合同班会議 プログラム

期日：平成29年12月8日（金）

場所：都市センターホテル

開会の辞

9：00－9：05

針谷正祥（東京女子医科大学）

厚生労働省難治性血管炎に関する調査研究班

1. 厚生労働省より基調講演

9：05－9：20

厚生労働省 健康局疾病対策課

2. 研究班全体の活動報告

9：20－9：35

研究代表者 針谷正祥（東京女子医科大学）

3. 分科会活動計画

I. 中・小型血管炎臨床分科会

9：35－9：50

分科会長 要 伸也（杏林大学）

II. 国際協力分科会

9：50－10：05

分科会長 藤元昭一（宮崎大学）

III. 大型血管炎臨床分科会

10：05－10：20

分科会長 中岡良和（国立循環器病研究センター）

IV. 小児血管炎研究

10：20－10：35

研究分担者 高橋 啓（東邦大学）

V. 臨床病理分科会

10：35－10：50

分科会長 石津明洋（北海道大学）

VI. 横断協力分科会

10：50－11：05

分科会長 高崎芳成（順天堂大学）

4. 事務局より連絡

11：05－11：10

5. 各分科会会議

11：10－12：10

中・小型血管炎臨床分科会

601 会議室

大型血管炎臨床分科会

603 会議室

国際協力分科会

604 会議室

臨床病理分科会

608 会議室

横断協力分科会

609 会議室

～ お昼休憩 601 会議室 ～ 12：10－13：00

※603 会議室もご使用いただいても問題ございません。

※尚、12:10 から下記会議を開催致します、該当の先生方はお部屋にお集まりください。

MPA・GPA ワーキンググループ会議

604 会議室

小児血管炎グループ会議

608 会議室

血管炎研究戦略会議（研究代表者・各分科会長・事務局）

609 会議室

AMED 血管炎関連研究班報告

AMED 難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究班

1. 研究班の活動報告

1) 戦略的臨床研究分科会進捗報告

分科会長 針谷正祥

I. AAV のリサーチアジェンダの検討

13 : 00-13 : 10

長坂憲治・本間 栄

II. AAV コホート研究における有効性

13 : 10-13 : 20

佐田憲映・本間 栄・和田隆志・針谷正祥

III. AAV の肺画像解析

13 : 20-13 : 30

本間 栄

IV. PEXIVAS 試験

13 : 30-13 : 40

藤元昭一

V. RemIRIT 研究

13 : 40-13 : 50

長坂憲治

VI. AAV における健康関連 QoL

13 : 50-14 : 00

勝又康弘

VII. AAV における医療経済学的検討

14 : 00-14 : 10

田中榮一

VIII. ARAMIS 研究

14 : 10-14 : 15

川上民裕

2) 戦略的病因・病態研究分科会進捗報告

分科会長 石津明洋

I. 大型血管炎の病因・病態解析 進捗報告

14 : 15-14 : 25

磯部光章

II. 血管炎の感受性遺伝子解析 進捗報告

14 : 25-14 : 35

土屋尚之

III. 血管炎の分子基盤解析 進捗報告

14 : 35-14 : 45

宮崎龍彦

IV. 血管炎の細胞障害機序解析 進捗報告

14 : 45-14 : 55

駒形嘉紀

V. 血管炎の自己抗体解析 進捗報告

14 : 55-15 : 05

川上民裕

15 : 05-15 : 15

石津明洋

2. 研究班全体の活動報告

15 : 15-15 : 30

研究開発代表者 有村義宏

3. 事務局より連絡

15 : 30-15 : 35

駒形嘉紀

AMED : ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的 シーズ探索と臨床的エビデンス構築研究班

1. 研究班全体の活動報告 15 : 45 – 15 : 55
研究開発代表者 針谷正祥

2. 研究開発進捗報告
 - I. 顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの医師主導治験準備 15 : 55 – 16 : 05
針谷正祥・堤野みち

 - II. 大規模プロテオーム解析による新規活動性マーカーと治療標的蛋白の探索 16 : 05 – 16 : 15
長谷川 均

 - III. 包括的ゲノム情報に基づくシーズ探索 16 : 15 – 16 : 25
土屋尚之

 - IV. 網羅的遺伝子発現解析と bioinformatics による新規分子標的の探索 16 : 25 – 16 : 35
竹内 勤

 - V. 好中球細胞外トラップ (NETs) を標的とする新規治療開発 16 : 35 – 16 : 45
石津明洋

 - VI. Lactoferrin(Lf)由来ペプチドを用いた NETs 制御による新規治療開発 16 : 45 – 16 : 55
平橋淳一

- 閉会の辞 16 : 55 – 17 : 00
研究開発代表者 針谷正祥